

福岡県米麦大豆生産改善速報 第6号

令和3年 1月20日
福岡県
福岡県米麦品質改善協会

麦の生育概況と対策

1. 本年の気象 [太宰府アメダス]

	11月18日～1月19日 (63日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	7.2	11.7	3.3	225	66
前年差(比)	-1.9	-2.2	-1.9	107%	41%
平年差(比)	-0.3	-0.4	-0.2	97%	52%

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 麦の生育 [小麦：(農産部) 11月18日播種、(筑後分場) 11月19日播種、大麦：11月25日播種]

11月18日～1月19日の平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は48%少なく、低温少雨で経過した。特に、11月23日～12月26日の降雨はなく、乾燥が続いた。

出芽は、小麦で平年より1～3日早く、大麦で平年より2日遅かった。1月20日現在の生育は、11月18～19日播種の小麦では、草丈が平年並～21%短く、莖数が平年並～48%多く、葉数は0.2～0.6葉多く、生育は進んでいる。一方、11月25日播種の大麦では、草丈が平年より17～31%短く、莖数が25～56%少なく、葉数が0.5～0.8葉少なく、生育は遅れている。

3. 今後の対策

(1) 排水対策

12月6半旬以降、降雪・降雨の影響では場の湿潤状態が続いており、今後も多雨が予想されることから排水対策が重要である。排水溝の溝さらえを行い、排水口を整備し、ほ場内の地表水を排水する。ほ場が乾燥した時点で、土入れを兼ねて作溝する。

(2) 踏圧・土入れ

踏圧・土入れは倒伏防止、早期莖立ち抑制や雑草防除、排水対策のため、必ず実施する。踏圧は土壌水分が低いときに、節間伸長開始期までに3～4回程度、土入れは3月上旬までに2～3回実施する。

(3) 雑草防除

雑草の発生量はやや多い。雑草の草種や発生状況を観察し、茎葉処理除草剤を適期に処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

(4) 追肥

1回目の追肥(分けつ肥)は、小麦・食料用大麦・裸麦では、基準量を1月下旬に施用する。ビール大麦は基準量を1月下旬～2月中旬に施用する。追肥に緩効性肥料を用いる場合も1月下旬に施用するが、施肥後に土入れを実施して確実に覆土を行う。

2回目の追肥(穂肥)は、食料用大麦・裸麦では2月下旬、小麦では3月上旬に基準量を施用する。なお、葉色が低下した場合は、2回目の追肥を早める。

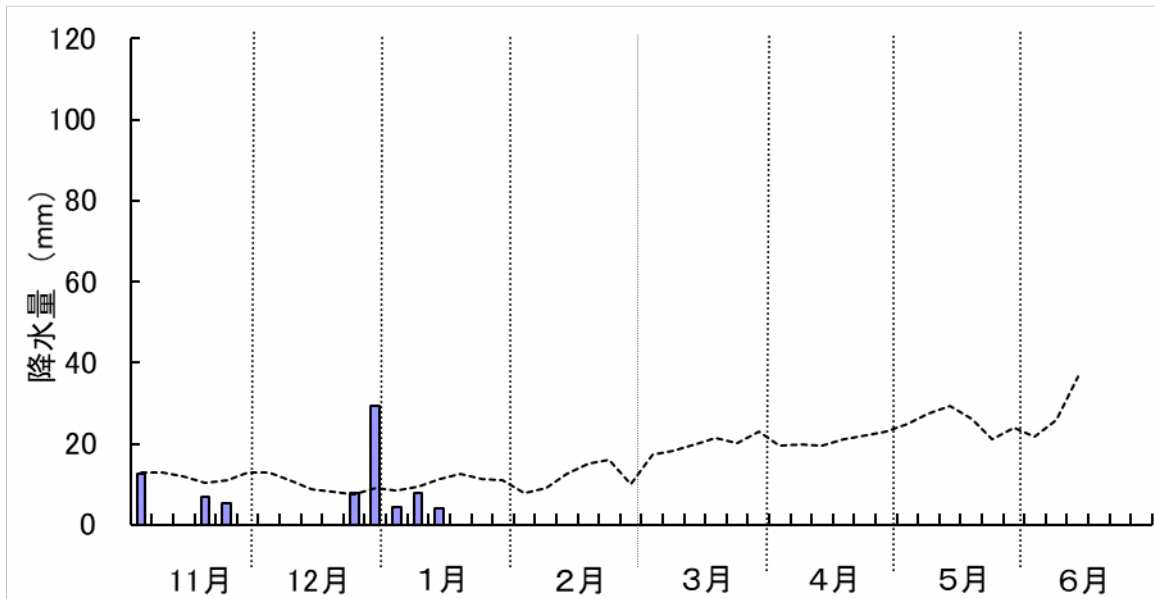
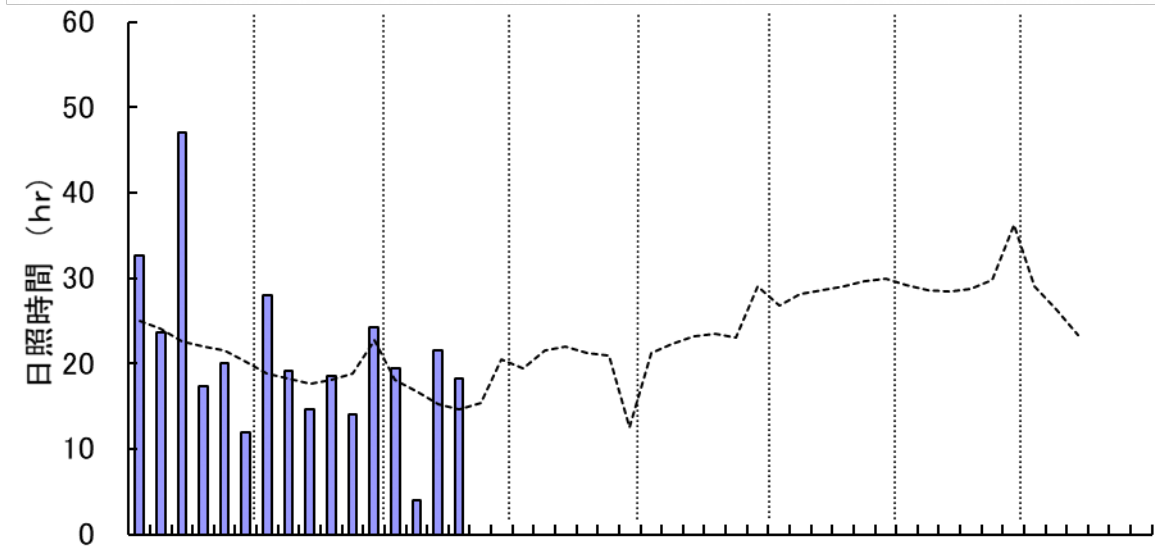
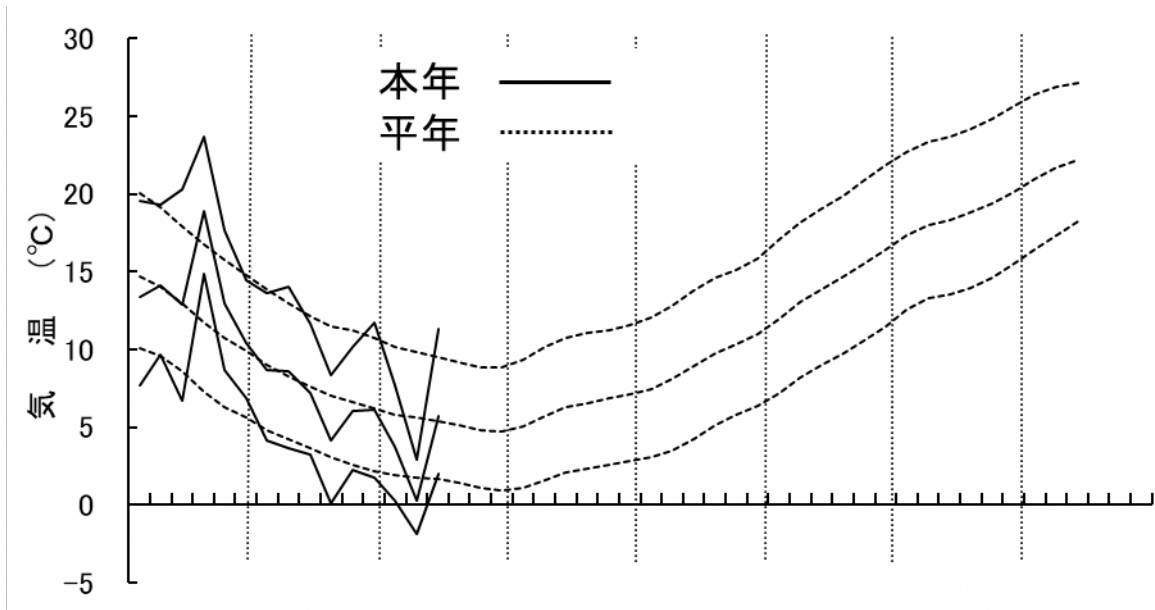
令和2年播 麦作況試験

(農林業総合試験場)

調査 場所	播種 期 月.日	品種名	年次	出芽期 月.日	1月20日		
					草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 L
農 産 部	11.18	チコグヰミ	本年	11.26	11.3	641	4.3
			前年比(差)	-2	61	125	-0.9
			平年比(差)	-3	85	148	+0.2
	11.25	ほうしゆん	本年	12.8	7.7	295	3.2
			前年比(差)	±0	59	71	-1.2
			平年比(差)	+2	83	75	-0.5
筑 後 分 場	11.19	シロガネギ	本年	11.29	10.0	469	5.0
			前年比(差)	-1	70	83	-0.5
			平年比(差)	-1	79	102	+0.6
	11.25	はるしずく	本年	—	7.5	167	3.0
			前年比(差)	—	60	40	-1.3
			平年比(差)	—	69	44	-0.8

注1) 平年値はH22～R1年播の平均値。

注2) この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象 (太宰府アメダス：令和2年11月～令和3年6月)